

- 問1 薩摩藩が奄美大島などで行った砂糖の専売制について、当時の生産現場では武士が作業を厳しく監視する体制がとられていました。このような厳しい管理が行われた理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
- 生産者に自由な取引をさせず、藩が安値で独占的に買い上げる仕組みを維持するため
 - 過酷な労働環境にある島民の安全を確保し、生産意欲を向上させるため
 - 海外への輸出を拡大するために、砂糖の品質を全国統一の基準に保つため
 - 砂糖の製法が他藩へ流出するのを防ぎ、特産品としての価値を守るため
- 問2 19世紀初めに江戸幕府が行った北方探検の成果に関する説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この調査の結果は、のちにドイツの医師シーボルトによって世界に紹介されました。 (2023年 北海道公立入試 類似)
- 小笠原諸島を調査し、それまで無人島だった地域に幕命による開拓の基盤を作った。
 - 樺太が大陸と地続きではなく、独立した島であることを明らかにした。
 - 千島列島の択捉島に到達し、日本の領土であることを示す標柱を立てた。
 - 蝦夷地全域を測量し、初めて正確な日本地図である「大日本沿海輿地全図」を完成させた。
- 問3 イギリスで始まった産業革命による生産体制の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- 商人が農家に原料や道具を貸し、自宅で製品を作らせる問屋制家内工業が普及した。
 - 機械の導入によって、工場で製品を大量生産する工場制機械工業が広まった。
 - 土地を基盤とした封建的な身分関係に基づき、農民が領主に生産物を納める仕組みが確立した。
 - 道具を用いた手作業による分業で、効率的に生産するマニファクチュアが主流となった。
- 問4 江戸幕府が定めた法令による大名の統制について、その目的と、法令に違反した大名に対して行われた厳しい処分の説明として正しいものを答えなさい。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
- 朝廷と大名の結びつきを強めるため、朝廷の官職を剥奪する処分を行った。
 - 大名の勢力を抑えて幕府による統治を安定させるため、領地を没収する改易などの処分を行った。
 - 身分制度を打破して実力主義を導入するため、名字帯刀を禁止する処分を行った
 - 大名の経済力を向上させて年貢を増やすため、貿易の権利を取り消す処分を行った。
- 問5 江戸時代の流通において、商業の中心地である大阪と巨大な消費地である江戸を結ぶ航路は非常に重要でした。この航路で、醤油や油、木綿、紙などの日用品を運ぶために用いられ、船の側面に竹を編んだ格子状の垣（柵）を設けていたことが名称の由来となっている船を選びなさい。 (2020年 香川県公立入試 類似)
- 北前船
 - 遣明船
 - 菱垣廻船
 - 樽廻船
- 問6 18世紀後半以降の藩政改革について述べた文として、当時の状況に合致する適切なものはどれですか。なお、当時の資料には、藩の経済状況を改善するために、藩独自の紙幣を発行したり、武士への支給を減らしたりした記録が残されています。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- 参勤交代の江戸滞在期間を半分にすることで、藩から幕府へ米を献上させる制度を導入して財政を改善した。
 - 藩独自の紙幣である藩札を発行したり、家臣に与える俸禄を削減したりして、支出を抑えつつ財政を補った。
 - 外国との貿易を藩が直接行うことで利益を得るため、長崎の出島を藩の直轄地として管理した。
 - 市場の関所を撤廃して誰でも自由に商売ができるようにし、商人の税を免除することで領内の流通を活発にした。
- 問7 江戸幕府が対外交流を制限していく過程において、幕府の役人が「ポルトガル人を追放したあと、オランダが貿易に必要な物資を十分に供給できるか」を確認する場面が当時の日記に記されています。1639年のポルトガル船来航禁止から、1641年のオランダ商館の出島移転に至る一連の経緯の背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
- 幕府はキリスト教の布教を伴わないオランダを唯一のヨーロッパの取引相手として選び、貿易の利益と情報独占を図った
 - 幕府はオランダに対してもキリスト教の布教を許可する代わりに、貿易の拠点平戸から出島へ移すよう命じた
 - 島原・天草一揆においてオランダが反乱軍を支援したため、その処罰として商館を人里離れた出島に隔離した
 - 中国（清）との貿易を停止する代わりに、オランダにすべての輸入品を供給させる契約を平戸で結ばせた
- 問8 江戸時代の大坂（現在の大阪府）が「天下の台所」と呼ばれるほど商業や物流が発展した背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
- 長崎の出島と同様に海外貿易の窓口として開かれ、外国産の珍しい品々が独占的に集まったから。
 - 徳川将軍家が直接統治する政治の最高拠点であり、参勤交代に伴う武士の消費が極めて大きかったから。
 - 堺の商人が自治を行い、室町時代から続く伝統的な特権を活かして全国市場を支配したから。
 - 諸藩が年貢米や特産物を売却して貨幣に換えるため、中継拠点となる大坂に蔵屋敷を構えたから。
- 問9 江戸時代の諸改革において、幕府の財政を立て直すために実施された具体的な施策とその内容の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
- 棄捐令 ― 大名の領地を取り上げ、その収益をすべて幕府の直接収入とした。
 - 俵物の輸出 ― 国内の金銀の流出を防ぐため、生糸や木綿の輸入をさらに拡大させた。
 - 上米の制 ― 大名に米を献上させる代わりに、参勤交代による江戸滞在期間を半分に短縮した。
 - 倭約の奨励 ― 武士や町人の消費を促すことで景気を刺激し、税収を増やすことを目指した。
- 問10 松平定信が、幕府の役人の規律を正し、思想的な統一を図るために行った学問に関する政策として、正しいものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- 聖堂学問所（昌平坂学問所）において、朱子学以外の講義や研究を禁止する寛政異学の禁を行った。
 - 西洋の進んだ医学や天文学を学ぶため、オランダ語による蘭学の研究を幕府の公認とした。
 - 全国の藩校や寺子屋に対して、身分に関わらず共通の教科書を用いるよう義務付けた。
 - 古事記などの古典を研究することで日本古来の精神を尊ぶ国学を、幕府の公式な学問として採用した。
- 問11 寛政の改革で行われた、旗本や御家人などの武士を経済的に救済するための政策について、その内容を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- 株仲間を積極的に解散させることで物価を下げ、武士の生活コストを低減させた。
 - 棄捐令（きえんれい）を出し、札差などの借金に苦しむ武士の債務を帳消しにさせた。
 - 公事方御定書を制定し、武士と商人の間の金銭トラブルをすべて商人の負けとする裁判基準を作った。
 - 専売制を導入し、地方の特産品を幕府が買い取ることで武士に手当を支給した。
- 問12 江戸時代の町人文化（化政文化）が栄えた時期に活躍した浮世絵師について述べた文です。富士山を各地から様々な角度で描いた「富嶽三十六景」などの風景画を確立し、後のヨーロッパの芸術家にも影響を与えた人物として正しいものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- 狩野永徳
 - 菱川師宣
 - 雪舟
 - 葛飾北斎

答え合わせ・解説

問1	答え 1 生産者に自由な取引をさせず、藩が安値で独占的に買い上げる仕組みを維持するため	薩摩藩の砂糖専売制は、藩の利益を最大化することを目的としていました。そのため、生産者である島民が砂糖を密売したり、自家消費したりすることを厳しく禁じる必要がありました。武士による監視のもとで、生産された全ての砂糖を藩が不当な安値で買い上げる強制的な仕組みを維持したことが、幕末の薩摩藩の強力な軍事力を支える資金源となりました。
問2	答え 2 樺太が大陸と地続きではなく、独立した島であることを明らかにした。	間宮林蔵による樺太調査の最大の成果は、樺太が大陸から切り離された島であることを確認したことです。当時、ヨーロッパの探検家たちの間でも樺太が島か半島かは不明でしたが、間宮が大陸との間の海峡を確認したことで地理学上の大きな発見となりました。この海峡は現在も国際的に「間宮海峡」と呼ばれています。
問3	答え 2 機械の導入によって、工場で製品を大量生産する工場制機械工業が広まった。	産業革命の最大の特徴は、蒸気機関などを動力源とする機械の導入です。これにより、それまでの手作業を中心とした生産形態（マニユファクチュアや問屋制家内工業）から、機械を備えた大規模な工場で労働者を雇い、安価な製品を大量に生産する「工場制機械工業」へと社会構造が変化しました。
問4	答え 2 大名の勢力を抑えて幕府による統治を安定させるため、領地を没収する改易などの処分を行った。	幕府は武家諸法度を根拠に、大名の軍事力を制限し、反乱の芽を摘むことで長期政権の基盤を築きました。法令違反や世継ぎの不在を理由に、領地を全て取り上げる「改易」や、別の土地へ移す「転封」を命じることで、絶対的な権威を維持しました。
問5	答え 3 菱垣廻船	江戸時代の大阪は「天下の台所」と呼ばれ、各地の物資が集まる商業の中心地でした。そこから幕府のある江戸へ物資を運ぶために「南海路」と呼ばれる航路が整備されました。菱垣廻船は、船の側面に菱形の模様に編んだ竹垣があることからその名が付き、主に日用品を大量に輸送していました。一方、樽廻船は酒を専門に運ぶ船として、菱垣廻船よりも後に登場し、速度が速かったため後に主流となりました。
問6	答え 2 藩独自の紙幣である藩札を発行したり、家臣に与える俸禄を削減したりして、支出を抑えつつ財政を補った。	財政難に陥った諸藩は、特産物の専売だけでなく、さまざまな手段で支出を減らし、収入を確保しようとしました。金銀などの貨幣が不足したため、藩内でのみ通用する「藩札」を発行して経済を回したり、家臣に支払う給与（俸禄）を強制的に差し引く「借り上げ（俸禄削減）」を行ったりして、危機を乗り切ろうとしました。「上げ米の制」は徳川吉宗が幕府の財政再建のために行ったものであり、藩政改革の一般的な説明としては適しません。
問7	答え 1 幕府はキリスト教の布教を伴わないオランダを唯一のヨーロッパの取引相手として選び、貿易の利益と情報の独占を図った	幕府はキリスト教を布教するスペインやポルトガルを排除する一方で、布教を目的としないオランダとの貿易は維持しようと考えました。ポルトガルを追放した後に物資が不足することを懸念し、オランダに貿易継続の意思を確認した上で、1641年に平戸から出島へ商館を移転させました。これにより、オランダは幕府の管理下で貿易の利益と海外情報の提供を独占的に行う役割を担うことになりました。
問8	答え 4 諸藩が年貢米や特産物を売却して貨幣に換えるため、中継拠点となる大坂に蔵屋敷を構えたから。	各藩は財政を支えるために、領地で集めた年貢米や特産物（蔵物）を貨幣に換える必要がありました。瀬戸内海の航路などを通じて物資を運び込みやすい大坂に蔵屋敷を設置し、そこで「蔵元」や「掛屋」と呼ばれる有力な商人を通じて取引を行ったため、大坂は物流と金融の全国的な中心地となりました。
問9	答え 3 上米の制 ― 大名に米を献上させる代わりに、参勤交代による江戸滞在期間を半分に短縮した。	享保の改革で導入された上米の制は、幕府の米不足を解消するための緊急措置でした。大名に対して石高1万石につき100石の米を献上させる代わりに、大きな経済的負担であった参勤交代での江戸滞在期間を1年から半年に減らすという特例を認め、幕府の財政を立て直す一助としました。
問10	答え 1 聖堂学問所（昌平坂学問所）において、朱子学以外の講義や研究を禁止する寛政異学の禁を行った。	松平定信は、儒教の中でも特に上下の秩序を重視する「朱子学」を幕府の正学と定めました。これに基づき、聖堂学問所（のちの昌平坂学問所）での朱子学以外の講義を禁じたのが「寛政異学の禁」です。これは武士の資質向上と体制の安定を目的とした思想統制の一環でした。
問11	答え 2 棄捐令（きえんれい）を出し、札差などの借金に苦しむ武士の債務を帳消しにさせた。	当時、武士は給与である米を現金に換える際、札差（ふださし）と呼ばれる商人から借金を重ねて困窮していました。松平定信は、こうした武士の経済的苦境を救うため、6年以上前の借金を無効にするなどの「棄捐令」を発令しました。これにより一時的に武士は救われましたが、商人が貸し渋りを行うなどの副作用も生じました。
問12	答え 4 葛飾北斎	江戸時代後期の町人文化では、浮世絵の分野において従来の美人画や役者絵に加え、風景画という新しいジャンルが確立されました。葛飾北斎は「富嶽三十六景」に見られるような、波や山を幾何学的に捉える大胆な構図や、鮮やかな色彩を多用しました。この斬新なスタイルは、19世紀後半のヨーロッパでゴッホやモネといった印象派の画家に多大な影響を与えたことで知られています。